

極端な技術職員数 申請には自動警告

国土省・経審の虚偽 申請防止対策強化案

国土交通省は26日、中央建設業審議会総会で経営事項審査の虚偽申請防止対策強化案を報告した。完工高に比べて技術職員数が極端に高い申請の自動警告など虚偽申請を防ぐシステム改正を予定している。対策は8月中をめどにまとめる。

現在、経審の経営状況（Y点）については、経営状況分析機関が統計的な異常値をシステムで抽出できるようにしている。ただ、抽出数が膨大になったり、立ち入り権限がないなど、審査に限界がある。このため、疑義項目をチェックする指標を再検証し、基準値

の修正や一部指標の入れ替えを予定している。指標のうち、虚偽申請の抽出に有効なものを選定、二段階による抽出を可能にする。絞り込んだ申請は、許可行政庁に直接情報提供する仕組みを導入する。

また、各許可行政庁では、1技術職員当たりの標準完工高を使い、技術職員数に比べて完工高の高い申請を抽出しているものの、建設投資の減少や技術力評価の改正などで適正に機能しなくなっていることから、1技術職員数当たりの標準完工高を再計算し、標準的な完工高からかけ離れている度合いを追加で情報提供できるようにシステムを改正する。完工高に比べて技術職員数が極端に高い申請には、自動的に警告が出るシステムにする予定だ。